

詩想

国木田独歩

青空文庫

丘の白雲

大空に漂う白雲しらくもの一つあり。童わらべ、丘にのぼり松の小かげに横
 たわりて、ひたすらこれをながめいたりしが、そのまま寝入りぬ。
 夢は楽しかりき。雲、童をのせて限りなき蒼空あおぞらをかなたこなた
 に漂う意こころののどけさ、童はしみじみうれしく思いぬ。童はいつし
 か地の上のことを忘れはてたり。めさめし時は秋の日西に傾きて
 丘の紅葉もみじば火のごとくかがやき、松の梢こずえを吹くともなく吹く風の
 調べしらは遠き島根に寄せては返す波の音にも似たり。その静けさ。
 童は再び夢心ゆめこころ地せり。童はいつしか雲のことを忘れはてたり。

この後、童も憂うれき事しげき世の人となりつ、さまさまのこと彼を
悩なやましける。そのおりおり憶おもい起こして涙催すはかの丘の白雲、
かの秋の日の丘なりき。

二人の旅客

雪深みやまき深山ひとけの人氣みちとだえし路たびを旅客びとひとり一人ゆきぬ。雪ゆきいよいよ
深く、路たますます危たうく、寒氣た堪え難たくなりてついに倒れぬ。そ
の時、また一人の旅人來たりあわし、このさまを見て驚き、たす
け起こして薬たなどあたえしかば、先の旅客たびびと、この恩たいずれの時
かむくゆべき、身を終わるまで忘れじといいて情け深き人の手を

執りぬ。後の旅人は微笑みて何事もいわざりき。家に帰らば世の
のち 人々にも告げて、君が情け深き拳ふるまい動言ふい広め、文ふみにも書きとめ
 て後の世の人にも君が名歌わさばやと先の旅客たびびと言いたしぬ。情
 け深き人は微笑ほほえみて何事もいわざりき。かくてこの二人ふたりは連れだ
 ちて途みちをいそぎぬ。路はいよいよ危うく雪はますます深し。一人
 つまづきぬ。一人あなやと叫びてその手を執りぬ。二人は底知れ
 ぬ谷おに墜うち失せたり。千秋せんしゅう万古ばんこ、ついにこの二人がゆくえを
 知るものなく、まして一人の旅客たびびとが情けの光をや。

脛しゆうど
 土

美^{うる}わしき堇^{すみれ}の種と、やさしき野菊の種と、この二つの一つを石
多く水少なく風^{つよ}勁く土焦げたる地にまき、その一つを春風^{かすみ}ふき霞
たなびき若^{わかみず}水流れ鳥啼^なき蒼^{あおぞら}空のはて地に垂^たるる野にまきぬ。
一つは枯れて土となり、一つは若葉^も萌え花咲きて、百年^{ももとせ}たたぬ
間に野は堇の野となりぬ。この比^ひ喩^ゆを教^おえて国民の心の寛^{ひろ}からん
ことを祈^ひりし聖^{ひじり}者おわしける。されどその民の土やせて石多く風
勁^{つよ}く水少なかりしかば、聖^{ひじり}者がまきしこの言^{ことのは}葉^{そだつ}も生育^{そだつ}に由^よなく、
花も咲かず実も結び得^えで枯れうせたり。しかしてその国は荒野^{あれの}と
変わりつ。

路傍の梅

少女あり、友が宅にて梅の実をたべしにあまりにうまかりしか
おとめ
 ば、そのたねを持ち帰り、わが家の垣根かきねに埋めおきたり。少女は
おとめ
 旅人が立ち寄る小さき茶屋の娘なりき、年経てその家倒れ、家あ
 りし辺りあたは草深き野と変わりぬ。されど路傍なる梅の老木おいきのみは
 ますます榮えて年々、花咲き、うまき実を結べば、道ゆく旅客たびびと
 らはちぎりにて食ひ、その渴かわきし喉のどをうるおしけり。されどたれあ
 りて、この梅をここにまきし少女おとめのこの世にありしや否やを知ら
 ず。

(明治三十一年四月作)

青空文庫情報

底本：「武蔵野」岩波文庫、岩波書店

1939（昭和14）年2月15日第1刷発行

1972（昭和47）年8月16日第37刷改版発行

2002（平成14）年4月5日第77刷発行

底本の親本：「武蔵野」民友社

1901（明治34）年3月

初出：「家庭雜誌」

1898（明治31）年4月

入力：土屋隆

校正：蔣龍

2009年3月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

詩想

国木田独歩

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>